

会 議 要 録

会 議 名	第31回 八王子市生活安全対策協議会		
日 時	令和4年(2022年)6月17日(金) 午後2時～3時30分		
場 所	八王子市役所本庁舎議会棟4階 第6委員会室		
出席者 (敬称略)	委 員	西原 延枝、尾寄 敏夫、大橋 舞菜、粕谷 良、加藤 一詞、 南澤 佳宏、西室 正士、久保 潤二、鈴木 麗加、右田 敦之、 堀上 則夫、高橋 文夫、田村 正志、松原 清十郎、齋藤 辰男、 野田 明美、富山 佳子 計17名	
	説 明 者	八王子警察署 栗原課長代理	
	事 務 局 等	長谷川生活安全部長、昆防犯課長、海津主査、星主査、松日樂主任、 西川主任 計6名	
欠席者(敬称略)	綾塚 匡尚、平湯 達也 計2名		
議 題	(1) 会長及び副会長の選任について (2) 令和3年度(2021年度)生活安全対策事業報告について (3) 令和4年度(2022年度)生活安全対策事業計画について (4) 再犯防止推進計画の取組状況について (5) 市内の犯罪発生状況と対策について (6) 各警察署管内の犯罪発生の傾向と対策等について (7) その他		
公開・非公開の別	公開		
非 公 開 理 由			
傍 聴 人 の 数	なし		
配 布 資 料 名	<ul style="list-style-type: none"> ● 次第 ● 資料1：八王子市生活安全対策協議会 委員名簿 ● 資料2：令和3年度(2021年度)生活安全対策事業報告(主なもの) ● 資料3：令和4年度(2022年度)生活安全対策事業計画 ● 資料4：八王子市再犯防止推進計画について ● 資料5：市内の犯罪発生状況と対策について 		
会 議 の 内 容	(次のとおり)		
会 議 録 署 名 人	令和4年9月8日	署名人 久保 潤二	

会議の内容 【 】：発言者

開会【防犯課長】

開会挨拶【生活安全部長】

次第2 各委員紹介及び事務局紹介【防犯課長】

- ・時計回りで委員を紹介。紹介後一言ずつ挨拶

事務連絡【防犯課長】

- ・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかったが、令和4年度は2回開催を予定している。
- ・議事の中ですぐに回答できないことは、後日資料送付等で対応する。
- ・第10期の会長及び副会長を選任していないため、議題（1）会長及び副会長の選任については、防犯課長が議長を代行する。
- ・本日の会議出席者は規定数である過半数が出席。
- ・本日は傍聴人なし。
- ・会議録の扱いについては、この後選任する会長に署名をお願いします。

議題（1） 会長及び副会長の選任について【防犯課長】

- ・第9期に引き続き久保委員にお願いしたいがいかがか→異議なし。
- ・副会長については、第9期は八王子防犯協会の内田委員にお願いしていた。今期は高尾防犯協会の堀上委員にお願いしたいがいかがか→異議なし。
- ・ここからの進行は久保委員にお願いする。

議題（2） 令和3年度（2021年度）生活安全対策事業報告について

【防犯課長】資料2に沿って説明

○質疑応答

【尾寄委員】

生活安全パトロールについて、市長も参加していると書いてある。資料に書いていないが、市の部課長も参加しているということでしょうか。

【防犯課長】

そのとおりである。

【加藤委員】

20 年ほど前にピーポくんの家駆け込み訓練を実施したが、その時はピーポくんの家に限らず、どこでも駆け込むよう学校に指導したので、指導の際はそのように教えてよいと思う。現在もそのような指導はしているのか。

【星主査】

先週、駆け込み訓練に参加してきたが、ピーポくんの家がそんなに多い場所ではなかったため、そばにいる大人に助けを求めたり、どこでもいいから駆け込みしなさいという指導はおこなっていた。

【加藤委員】

昔、実際に子どもが不審者に追いかけられた際、50 メートル以上先のピーポくんの家まで走ったことがあった。距離が長すぎて危ないということがあったので、どこでも駆け込むということを徹底指導してほしいと思う。

【栗原課長代理委員】

ピーポくんはもともと警察のキャラクターなので、警察からも個々の住宅にお願いしている。商店会などでも実施してもらえらるなら、是非協力をお願いしたい。

【野田委員】

以前、教育委員会にいたときは、小学校 PTA 連合会の皆さんに協力してもらい、各校区内のお宅にお願いしてステッカーを張らせてもらったり、ピーポくんの家がある場所を巡る等の活動をしていた。

【議長】

日本文化大学にもステッカー貼ってある。個人の住宅以外でも貼れるといいと思う。

【右田委員】

防犯協会は町会の人が入ったりしているから、協力を要請しても良いと思う。今回の話があったことを会長に持ち帰ってみる。

【堀上委員】

横山第二小学校地区にも数軒ある。小学校から依頼されたらやってくれるところはあるのではないかな。

【防犯課長】

市の所管は教育委員会になる。今回の話を教育委員会に情報提供する。

【鈴木委員】

金銭トラブルについて、高齢者だけでなく若者の被害が増えている印象がある。八王子は大学が多い。弁護士会でも若い人向けに対策をしている。市でも何か対策をしているか。

【議長】

最近ネットでの被害に遭う学生が多いため、被害に遭わないような広報・啓発活動を実施したほうがよいのではという意見でよろしいか。

【鈴木委員】

簡単にお金を借りないほうがよいと啓発したほうがよいと思う。

【防犯課長】

ご指摘のとおり、現在若年層への対策はおこなっていない。特殊詐欺について受け子など加害者にならないよう警察からポスターをもらい、掲示して啓発はしているが、被害に遭わない対策については今後考えていきたい。

【議長】

警察からは学生に対し、何か啓発はおこなっているのか。

【田村委員】

民法が変わって成人年齢引き下げされたため、大学にも主に契約関係について気を付けるよう、警察が講話をしている。

【松原委員】

資料にある特殊詐欺の啓発というのは、高齢者向けのオレオレ詐欺や還付金詐欺を対象にしていると考えられる。若年層を対象としたものは、田村委員が言ったように無理な契約を結んでしまうこと等の注意喚起で、消費者トラブルの一種である。南大沢警察では、18歳になる人への啓発を大学ボランティアの人をお願いして、お兄さん目線でやってもらっている。参考にしてほしい。

議題（3） 令和4年度（2022年度）生活安全対策事業計画について

【星主査】資料3に沿って説明

○質疑応答

【尾寄委員】

令和2～3年度はコロナでWEB開催とあるが、対面での開催は効果が高いと思っている。今回の実施計画は対面開催となっているが、その意図があつてのことか。

【防犯課長】

そのとおりである。ただ、去年 WEB 開催で作成した動画等については、せっかく作ったものなので市の HP などで引き続き公開していきたい。

【議長】

自動通話録音機について、購入予定台数 360 台とあるが、通算ではどれくらいか。

【海津主査】

おおよそ市内で 1400 台の貸出実績。警察署や高齢者安心相談センター等様々な機関に協力を求めながら、市全域に配布しているところである。

議題（４） 再犯防止推進計画の取組状況について

【海津主査】

資料４に沿って説明

○質疑応答

【加藤委員】

わたしも保護司をやっている。実際は保護観察期間が過ぎると直接会うことが難しい。息の長い支援とあるが、それは保護観察期間が過ぎた後まで支援していくということによろしいか。それとも保護観察期間だけなのか。

【防犯課長】

本来は保護司や更生保護施設の方と市の各窓口が連携を取り、支援することで早期に社会復帰に導くことを目標としている。個々の担当では出来ているかもしれないが、課題等が全体で共有化されていないのが現状であり、ここでいう息の長い支援というのは、課題を共有化し、全体で支援していく意味である。

【鈴木委員】

ここでいう再犯者率というものは、どのように出しているのか。

【星主査】

警視庁から提供を受けた刑法犯検挙者数に占める、再犯者数の割合である。

【議長】

犯罪を犯した人を雇う協力雇用主という制度がある。先ほど話した息の長い支援にも結び付く重要な制度だと思う。市内ではどれだけの数があるのか。

【課長】

市内には協力事業主会というものがあるが、正確な数字は把握していない。

【議長】

このような事業主を増やすことは、再犯者の就労の機会を増やすことに効果的と思うため、是非進めてもらいたい。

議題（５） 市内の犯罪発生状況と対策について

【星主査】資料５に沿って説明

議題（６） 各警察署管内の犯罪発生傾向と対策等について

【八王子警察署 栗原課長代理】

- ・警視庁の把握であり市役所の把握している数とは違うことを断っておく。
- ・令和３年中の八王子警察署管内における犯罪発生件数について、特殊詐欺が 38 件（前年比+9 件）、ひったくり 1 件（前年比+1 件）、侵入窃盗 30 件（前年比-3 件）、強盗 5 件（前年比+1 件）、性犯罪 16 件（前年比+5 件）、自動車盗 6 件（前年比+3 件）、子どもに対する犯罪 5 件（前年と同じ）、前年と比べ侵入窃盗以外は増加傾向にある。侵入窃盗も未だ多く予断を許さない状況。
- ・特殊詐欺の被害額は 7,400 万円（前年比+1,800 万円）。内訳はオレオレ詐欺 19 件（前年比+9 件）、預貯金詐欺 5 件（前年比+2 件）、架空料金請求詐欺 3 件（前年と同じ）、還付金詐欺 1 件（前年と同じ）、キャッシュカード詐欺盗 10 件（前年比+7 件）。
- ・主な手口は息子や孫をかたるオレオレ詐欺、警察官や銀行職員をかたりキャッシュカードをすり替えるキャッシュカード詐欺盗が増加傾向にある。都内で多く発生している還付金詐欺が 1 件と、都内の発生状況とは少し異なる部分もある。
- ・特殊詐欺の被害が多かった地域は子安町で 4 件。
- ・一番被害が多い月は 2 月で 7 件。
- ・令和３年中のアポ電入電件数は 406 件。八王子駅周辺の子安町や明神町の入電が多く、一番多い地域は子安町で 44 件。被害発生が多い地域はアポ電も多くなっている。
- ・特殊詐欺の対策について、昨年 2 月 18 日から特殊詐欺対策プロジェクトを立ち上げ、検挙と抑止の面において取り組んでいる。抑止面では、私服の警察官による高齢者宅への戸別訪問を実施し、去年は 12,683 件訪問し、4,905 件の家に留守番電話設定を実施した。併せて、1,476 世帯に、固定電話の近くに署オリジナルのステッカー（ちょっと待ったステッカー）を張るよう依頼した。
- ・また、去年 10 月の特殊詐欺対策強化月間では、4 件の被害が発生してしまったが、検挙面では、だまされたふり作戦により、受け子を 1 件検挙した。
- ・抑止面で、年金支給日である 10 月 15 日に還付金対策として無人 ATM に警察官を配置する等で警戒を強化し、都内で急増している還付金詐欺を抑制する等一定の成果を挙げた。
- ・その他活動としては、各種イベントの開催時や管内の小中学校に赴き、各地域で発生した犯罪発生状況やアポ電の入電状況等をタイムリーに伝えるメールけいしちようと併せ、防犯アプリであるデジポリスの促進活

動をおこなった。

・最近の犯罪発生状況について、5月下旬から6月上旬にかけて、オレオレ詐欺が連続して5件発生している。その他、タイヤ盗等の被害が発生している。また、アポ電について、警視庁の閉庁後の夕方や閉庁日である土曜日の件数が増えている。特殊詐欺の緊急対策として、注意喚起チラシの配布や、高齢者宅の戸別訪問の件数を増やし対応している。

【高尾警察署 田村委員】

- ・高尾管内における犯罪発生状況とその対策について、令和4年5月末までの数字でお伝えする。
- ・刑法犯認知件数については先ほどの話のとおり、警視庁と同じく減少傾向で、188件（昨年同時期比較-32件）。警視庁で重点対策している指定重点犯罪（強盗・性犯罪・侵入盗・子どもへの犯罪・ひったくり・特殊詐欺・自動車盗）は13件発生（昨年比較-3件）。
- ・内訳として、強盗が1件発生しており、犯人は2人いたが検挙された。仲間内で物を強奪したもの。
- ・侵入盗は7件発生したうち3件を検挙した。うち1件については被害者が直接犯人を見てその場で現行犯逮捕となった案件で、逮捕した結果余罪が判明した事案。侵入盗のうち、忍び込み（家人が寝ているときに侵入し窃取するもの）が3件発生、空き巣（家人が不在の時に忍び込み窃取する）が1件、居空き（在宅中にもかかわらず侵入し窃取する）が1件発生した。
- ・子どもの犯罪は強制わいせつが1件。去年発生したものが立件されたもの。
- ・特殊詐欺について、5月末で4件発生、被害額は728万3千円。うち2件は検挙済。
- ・ひったくり、自動車盗、性犯罪の発生はない。6月に入って自動車盗が1件発生。深夜帯に自宅の駐車場から盗難。
- ・特殊詐欺についての対策は、高齢の方にとにかく意識付けをすること。新聞の折り込みにチラシを入れたり、高齢者の弁当配布業者にチラシ配布を依頼したり、各所のデジタルサイネージで注意喚起したり、ポスターを張るなどの対策を日々実施している。それでも被害が出るので、日々やっていくしかないと感じている。
- ・高齢者宅を個別訪問し注意喚起をしている。件数は5月中に1,075世帯。おそらく八王子署も南大沢署も実施している。未然防止の事例もあり、本年では8件。注意喚起をしたものには高尾署長から感謝状の贈呈もおこなった。去年は13件の未然防止があったので、今年はより多く防げているのではと感じている。ATMでの高齢者への声掛け、コンビニで電子マネーを購入する高齢者への声掛け等を積極的にしている結果だと思う。
- ・警視庁では、犯人からの電話に出ないための対策、無人ATM対策、コンビニ対策を特殊詐欺3対策として掲げ対策を進めている。引き続きやっていきたい。
- ・3月にイーアス高尾で特殊詐欺防止キャンペーンを実施。6月には電車内での痴漢撲滅巡回を15日まで実施。京王高尾駅にも協力をしてもらった。拓殖大学のラグビー部も呼んだ。痴漢対策の撲滅キャンペーンということで、本年警視庁が防犯大使として任命したサザエさん一家を呼び啓発した。
- ・10月には防犯のつどいもある。今年は高尾署が主体となる。皆さんの協力をお願いしたい。

【南大沢警察署 松原委員】

- ・今年5月までの刑法犯認知件数は311件。自転車盗が98件、万引き56件、器物損壊46件。
- ・最近ではタイヤ盗が目立っている。30件以上発生。多摩地域でスタッドレスタイヤの履き替えがあるため、それを狙われていると考える。屋内に置くのがよいがなかなか難しいので、庭に置いてあることを悟られないようにすることや、4本をチェーンでまとめたり固定するのが効果的。対策として、タイヤ盗のビラを作成し、オートバックス等の車用品店や町会に配布し注意喚起している。
- ・侵入盗が11件。去年が非常に少なかったのが今年は増加となった。過去3年の平均でみると-6件となっている。
- ・特殊詐欺は12件(+3件)。3年平均だと-3件。10~20年の間課題になっており対策に一番力を入れている。うち6件がキャッシュカード詐欺盗。去年から管内で多発している。オレオレ詐欺は今月から多発。被害はなかったが、信じて銀行にお金を引き出しにきた高齢者が2名いた。これはどちらも銀行員が止めた。また、近所の人に話をした結果防げたケースが1件あった。
- ・鞆をなくしたという手口は昔からあるが、まだ知らない人がいる印象。引き続き啓発していくしかない。毎日青パトで、キャッシュカードやATM等のキーワードを中心に広報をしている。キーワードで気づいて未然防止につながればと思っている。
- ・ATMでは携帯電話を使わないようPRしている。ATMにいけば必ずポスターが貼ってある。
- ・ATMで被害になっている人はスマホで話しながら長時間機械を操作している。高齢者がATMで話している場面に出くわしたら声掛けしてほしい。
- ・防犯意識の高い人たちの中で情報共有して、警察とまちぐるみで被害を防止したいと思っている。
- ・南大沢防犯協会では、去年の10月に八王子車人形の西川古柳座に協力してもらい、特殊詐欺啓発のYouTube動画を作成した。ATM編、キャッシュカード編、電子マネー編と、管内で発生している被害を演劇方式で作成してもらった。是非観て宣伝してもらいたい。車人形を選んだのは、関心のある高齢者にみてもらうためである。
- ・本会議の参加者の方にも是非まちの高齢者に目を向けてもらい、市民の輪を広げれば1件でも被害が減ると思う。南大沢署でも安全安心を確保するために犯罪の未然防止活動に努めていく。

議題(7) その他

【尾寄委員】

町自連ではここ数年で災害対策をテーマとした各町会宛の研修会を実施している。今年も同じテーマで研修会を実施する。特殊詐欺の被害者が多いという現状で、防犯対策に取り組む必要性を感じた。来年度以降に研修を実施する際は、是非、警察に協力をお願いしたい。

【右田委員】

デジポリスの具体的な使い方を知りたい。また、広報活動はどのようにしているか。

【栗原課長代理】

各種イベントに出向いて広報している。機能としては、地域を選んでもらうと、地域で発生している特殊

詐欺や公然わいせつ等の情報がメールけいしちょうと同内容のものが確認できる。また、防犯ブザー機能がついている。実際に使って検挙した事例もある。

【田村委員】

警視庁のホームページにもつながっているの、様々な情報が入っている。

今警視庁が一番力をいれているのは痴漢対策。電車の中で痴漢に遭っている時に、周囲に知らせる機能がある。

【右田委員】

市民レベルでどれだけデジポリスが伝わっているのか、今回参加している人がどれだけ活用されているのかが気になる。

【田村委員】

是非、皆さんインストールしてほしい。

【松原委員】

子どもとの位置関係を把握できる見守り機能も付いている。犯罪の発生状況が入っているので、例えば知らない地域に来た時に、そこでよく発生している犯罪を知らせてくれる機能もついている。自分がいる場所の犯罪状況を把握して、防犯ブザーで備えることができる。痴漢がいることをスマホの画面で見せて知らせる機能もある。特に、子どもや女性に使える機能が多いと思うので、学校のセーフティー教室等で啓発している。

【右田委員】

市としても広報活動されてはいかかでしょう。

【防犯課長】

市でも周知する方法が多くあるので、検討していきたい。

【尾寄委員】

再犯防止推進計画について、八王子市では都内でもかなり早い段階で計画を策定している。保護司をやっているのだが、定数 154 名に対し現在の会員数が 134 名と現在満たされていない。是非、知り合いにできそうな人がいれば推薦をお願いしたい。

【生活安全部長】

市としても保護司の少なさについては危機感を持っている。市の現役職員の中にも保護司がいる。退職者説明会の中でも保護司の説明をしており、再犯防止推進会議の中でも情報共有しながら増員について取り組んでいきたい。

【大橋議員】

話は戻るが、友人の友人がマルチ商法について以前相談されたことがある。友人が気付いたとしても、学生では対策をすることができない。説得しても洗脳状態になっていて耳をかしてくれないと聞いたことがある。学生が手を出す前に防ぐことができるよう、大学等で講義をするなど事前の対策が必要と感じた。

【防犯課長】

次回の協議会は2月頃を予定している。本日の会議録等資料は後日送付する。

以上